

○東京都教育委員会目標 スクール・ミッション

○本校の教育目標と目指す学校
『誠実』『慈愛』『自立』

○本校のグランドデザイン

Anniversary 70th
since 1948

八丈高校魅力化プロジェクト

～ ONLY ONE すべては生徒のために ～

「教育内容の充実と進路実績の向上」

「地域と協働した探究学習」「Hawaii 研修」「企業連携・都立大・産技大等との高大連携」
東京大学教養学部インターネット配信講座協定校 都立大学・産業技術大学院大学連携協定校
海外学校間交流推進校 Hawaii Waiakea 高校姉妹校
TOKYO教育DX推進校 学力向上研究校
エンジョイススポーツプロジェクト実施校

○八丈町と緊密な連携 ・普通科 2 学級維持及び 1 学級増（普通科一学年 41 名以上及び 81 名以上） ・ホームステイ先の確保と寮建設
・島内生の郷土愛の更なる育成・島外生の八丈島への理解伸長 ・八丈島の人口問題解決へ貢献（生徒増、U ターン・I ターン、活性化）

観点	中期的目標と方策	今年度の教育活動の目標と方策	重点目標と方策
学 習 指 導	【目標】グランドデザインに基づいた教育課程の充実と魅力ある教育活動、進路希望のより高いレベルでの実現を目指した授業の充実化 【方策】 ○将来のデジタル教科書や、校務・採点支援システム化による IT 化、AI や ICT の活用を推進する。 ○教員の資質・能力の更なる向上のため、個人の研鑽をはじめ、オンラインでの指導教諭の模範授業、教員研修など、意図的、計画的、組織的な研修を推進する。 ○文科省地域協働事業推進校の経験を活かし高大連携や地域と協働した探究学習を推進して地域課題解決に挑戦する創造的な「八丈島を支える人材」を育成する。地域協働学習実施支援員を教務部へ分掌し推進する。 ○島内外の小・中学校との教科間及び学校間連携で町教委主催教育研究会の各部会に参加するなどして情報の共有化及び指導と評価の内容や方法の改善を図るとともに、各教科の小中高の系統的な学習を推進する。 ○全教育活動を通じてオリンピック・パラリンピック教育を推進し国際交流など八高のレガシーを構築する。 ○「視野の広い国際社会で活躍する人材」を育成する。	【目標】カリキュラムマネジメントによる魅力化の創造 【方策】 ○学習指導要領のもと、学力の 3 要素に基づいた指導とルーブリック等の評価、系統的な学習や教科横断的な学習、探究学習を研究・開発し、研究紀要や学習の手引き「学びの羅針盤」を活用・改訂し、生徒に配布、保護者の活用を推進する。 ○習熟度別授業の充実化の他、IT 化、AI や ICT を活用しデータを可視化して定期考査や模試等による学力の定点観測や分析会等で指導の最適化を図る。 ○反転学習を含めた予習・授業・復習の学習サイクルを定着させるとともに、学習環境整備、オンライン学習、e ポートフォリオシステムなど、生徒の主体的な学習を支援し学び方と学習習慣を定着させる。 ○図書館機能の充実化と、IT 化、ICT を活用するなどして、情報教育やキャリア教育・進路学習を推進する。 ○校内外及び小・中学校の授業参観、授業研究を全教員が行い、異校種相互の系統的な授業力の向上を図る。 ○Hawaii の高校・大学と、高度な学び合い、相互交流を推進する。 ○ 学校行事の全・定・青島分教室の共同開催に向けて、体育祭において定時制課程の生徒が一部参加をする。	【目標】わかる授業から「自ら学びたくなる授業」へ 【方策と数値目標】授業満足度（肯定的評価）90%以上（前年度 86%）、自己の授業を録画年 2 回以上実施 ○教務部の進行管理のもと、教科主任会議で進路指導部や学年と連携した学力分析による学力向上の取組とカリキュラムマネジメントを推進する。 ○デジタル技術を活用した意図的、計画的な教員研修、年 2 回以上自己の授業を録画し授業研究する。 ○教務部と各教科会により定期考査、模試、生徒による授業評価結果等を各教科が分析し授業改善・充実化と統一的な評価基準を策定する。 ○進路希望や習熟の程度の違いに対応するため、各校務分掌と各教科の連携を密にして各生徒の学習状況と選択科目希望を共有し、模試や講習、八高塾（校内寺子屋）での AI 教材の活用など確実な学力向上を図る。 ○ 図書室の土日開放事業を拡充することとし、夜間八高塾を開設及び学習環境の一層の充実を図る。 ○総合的な探究の時間（八文学、課題研究）など、地域の特色を生かした系統的な学習や教科横断的な学習を行い、郷土の歴史と伝統文化、産業の理解を深め、探究学習、進路学習、キャリア教育を更に推進する。 ○教員の指導力・授業力向上のため島嶼地区高等学校への授業配信を行い、島嶼地区の高校の底上げを図る。 ○コンクール参加や、TGG 活用で国際理解と英語力向上
園芸科・家政科の充実	【目標】園芸科、家政科の魅力化と情報発信 【方策】 ○大学や企業と連携し、「将来の高度な園芸・家政の専門人材」や「起業家・創業家を育成」する。 ○消費者教育・主権者教育を充実させ市民性を育む。 ○J-GAP 認証のもと SDGs を推進し地域貢献する。	【目標】園芸科、家政科の魅力の充実化と情報発信 【方策】 ○八高祭や体験授業等で、お弁当レシピ開発、食品製造、野菜、草花の販売等を行い、魅力の発信をする。 ○農業クラブや学校家庭クラブを推進、活性化し、活動成果や魅力を島内・島外に積極的に発信する。	【目標】園芸科、家政科の魅力の積極的な情報発信 【方策と数値目標】応募者倍率の 10%向上、事故ゼロ ○町と連携し、継続して島のお弁当レシピ開発を行う。 ○資格試験等の獲得を推進する。事故ゼロを目指す。 ○体験授業、上級学校説明等で島内外の小・中学生や保護者の理解を深め専門学科の魅力を力強く発信する。
生活指導・健康づくり	【目標】生徒の健全育成と心身の健康・体力向上の推進 【方策】 ○国際交流リーディング校、海外修学旅行の実施を目指すとともに、英検上位級の取得を推進する。 ○「Hawaii 研修」「次世代リーダー育成道場」「専門高校生徒海外派遣研修」への参加を推進する。 ○地域と連携した学校危機管理計画等の充実化を図る。 ○生徒の保健衛生、安全管理等の取組と事故防止を行い心身の健康の増進と体力の向上を図り健全育成する ○ エンジョイススポーツプロジェクト事業に応募する。	【目標】生徒の健全育成と心身の健康・体力向上の推進 【方策】 ○健全育成と国際理解、心身の健康・体力向上を図る。 ○平和学習、人権尊重、自他の生命尊重など、講話や教職員全員による統一指導により更に育成する。 ○SNS など情報モラルの徹底と、生徒が社会的に自立するための資質・能力を育成する。 ○生徒の自立に向けて、主体性や自己肯定感を更に高め、社会人として必要な非認知能力の向上を図る。 ○ エンジョイススポーツプロジェクト実施を全校において実施する。	【目標】生徒の健全育成と心身の健康・体力向上の推進 【方策と数値目標】ウラインを含め海外交流活動 5 回以上 ○海外学校間交流推進校として、国際交流を推進する。 中華人民共和国の中学校・高等学校と連携協定を締結する。 ○防災教育は生徒が主体となって企画・実施等して、八丈町と連携した安全教育、防災教育の充実化を図る。 ○生活指導部主導により、養護教諭や特別支援教育コーディネーターがスクールカウンセラーと連携して特別支援教育・教育相談活動の充実化と、ソーシャルスキルや非認知能力など、自立に向けた教育を推進する。 ○ 運動機会を設定し生徒の多様なニーズにこたえと共に健康に対する意識を高め、心身の健康を保持増進する。生活習慣（食事、睡眠等）の改善や心の健康について講演や実技指導を行っていく。
進 路 指 導	【目標】進路実績の向上 【方策】 ○生徒の進路希望の高いレベルでの実現のため、3 年間の系統的なキャリア教育の全体計画に基づいた進路学習と在り方生き方の涵養を学校全体で行い「社会的・職業的に自立した人材」を育成する。 ○都の予備校講師によるオンライン学習を要請する。 ○一般入試での進学対策など、学力の向上と進路指導の改善・充実化を図る。	【目標】進路実績の向上 【方策】 ○進路指導部主導で各学年と連携し組織的な進路指導体制のもと、生徒の進路希望を高いレベルで実現する。 ○進路選択に向けた面接指導や講演会、保護者会や保護者との面談等を各学期に実施し、情報共有化する。 ○進路指導部が中心となり各教科と連携して土曜講習や長期休業期間中の講習、自習体制を確立して組織的、計画的に学力向上を図り進路希望の実現につなげる。	【目標】進路実績の向上 【方策と数値目標】進路決定率 100%（前年度 93%） ○IT 化、AI や e ポートフォリオシステムを活用し外部模試の定点観測と分析を行うとともに、組織的な講習等により学力向上を図り、進路希望を実現させる。 ○就労系 YSW の活用と、早い時期からの意図的、計画的な進路学習を推進して生徒の進路実現を図る。 ○オンラインチューターの活用・充実化を推進する。 ○東京大学のオンライン講座の推進を図る。
特別活動等	【目標】特別活動等の充実化 【方策】 ○外部指導員を活用した部活動の年間活動計画を策定し、安全性を確保して活性化を図る。 ○生徒会が中心となって、学校行事の一層の充実を図り愛校心や帰属意識、郷土理解、リーダー性を高める。 ○グローバル化、ボーダーレス化への対応として、国際交流を更に推進し TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) 等を活用した 4 技能 5 領域など使える英語力を育成する。	【目標】学校行事や生徒会活動によるリーダー養成 【方策】 ○地域の社会人や、中学校と連携を図り、競技や発表の実践を通して知識・技能の伸長を図る。 ○学校行事や生徒会活動では、生徒が主役となり生徒自身が企画・運営して達成感と成就感等を経験させる。 ○読書活動を推進して国語力や表現力を養わせ読書意欲の向上と未読率の解消を図るとともに、書評合戦等に積極的に参加する。図書館利用を推進する。	【目標】リーダーの養成、部活動加入率の向上 【方策と数値目標】遅刻年間 15 回以上の生徒減（前年度 2.5%）、部活動加入率 85%（前年度 82%） ○生徒会役員の先進校視察・リーダー研修による国内外の他校交流で、主体性や、リーダー性を更に伸長し、生徒や保護者へ報告するなどして還元する。 ○生徒会による地域連携ボランティア活動を推進する。 ○全国大会、世界大会レベルのコンテスト、コンクールへの応募を促進する。
家庭・地域との連携協力・交流活動、学校広報活動	【目標】都や町と連携した戦略的な情報発信 【方策】 ○学校広報活動を経営の第一課題と位置付け推進する。 ○都や町等と連携し本校の更なる魅力化に努め情報発信し、八丈島への移住・定住、八高生及び海外からの八丈島訪問生徒のホームステイ先の確保、寮建設、そのほかの方法などを検討、推進して応募者倍率を向上させるとともに、地域貢献、国際交流・相互交流する。	【目標】家庭、地域との密な連携と、戦略的な情報発信 【方策】 ○マスメディアに本校の魅力ある取組の情報を提供し、地域と連帯した広報活動を推進する。 ○島留学生フォーラム、ホームステイ連絡会、学校運営連絡協議会等において、島内外からの学校理解、学校評価をいただき、本校の教育への支援を定着させる。 ○学校施設を積極的に開放する。	【目標】I T 等を活用した戦略的な情報発信 【方策と数値目標】HP・X (旧 Twitter) 更新年 200 回以上、授業公開来校 160 名以上（前年度 143 名）、第一志望者増 ○ホームページや X (旧 Twitter)、学校案内等を積極的に活用したタイムリーな情報発信で、学校広報活動と中学生、保護者、地域等への情報提供を推進する。

* 本校の学校経営や、生徒に役立つ方策等については、年度途中でも推進する。

			○授業公開等の保護者及び地域住民の参加者数増を目指し開催の周知方法や内容の改善を行い、魅力を伝える。
学 校 経 営 ・ 組 織 体 制	【目標】学校経営の適正化 【方策】 ○教職の魅力・やりがいを発信し、誰もが八高に勤務したくなるような学校づくりをする。 ○ライフ・ワーク・バランス重視の勤務環境を構築する。 ○本校組織全体の更なる活性化を図り、経営企画室の経営企画機能高め学校経営参画を推進し教育系と行政系の職員が密に連携した学校運営や施設管理を行う。	【目標】学校経営参画の推進と組織の活性化 【方策】 ○町と連携した危機管理体制を常に見直しマニュアル化し点検を行い校内研修を意図的、計画的に実施する。 ○企画調整会議や教科主任会議を中心に学校経営を行い組織的な学校運営、学校経営を行う。 ○事前の校長レクや起案決裁を徹底するとともに、教員の職層に応じたOJTによる校務運営を行う。	【目標】ライフ・ワーク・バランス推進による組織活性化 【方策と数値目標】超勤時間月 80 時間以上ゼロ・45 時間以上減少、いじめや生徒事故・体罰等の服務事故ゼロ ○TOKYO 教育 DX 指定校として AI 教材の活用など、IT 化・デジタル化を推進して、生徒の学力向上と、業務の効率化を図る。 ○東京都、八丈町、都立青鳥特別支援学校や分教室と本校との連携を緊密に図る。



* 本校の学校経営や、生徒に役立つ方策等については、年度途中でも推進する。